

あなたが地域の主人公 4

横須賀の子どもたちは恵まれてる。海に山に遊び場所がふんだんにある。首都圏でこれだけ多様な自然が身近にある環境はそうはない。

子どもたちが主役なら、脇を固めるのは子どもの健全育成に励むNPOだろう。「ケガと弁当は自分持ち」を合言葉によこすかプレーパークを運営する

夏の主役、子どもたち

「よこすか思いっきり遊ぶ会」の兼尾由美子さんにお話を聞いた。

「児童公園のような暗黙のルールがある場所ではない子どもたちが、ここでは泥んこに遊ぶんだことのない子どもたち

が、ここでは泥んこに遊ぶんだことのない子どもたちが、ここでは泥んこに遊ぶんだことのない子どもたち

自然の中で不便楽しんで

なって遊びまくるんです。火をみたことがない子ども

がたき火を経験する。野菜を食べられない子どもが畑で野菜を採る。テンション

が上がります。小さなケガをするから大きなケガをしない方法も学びます。お父

さんが大きなクラフトには海洋キャンプを教える関寛

之さんは「自然の中で子どもたちに不便を楽しむ気持ち

ちを持つてほしい。そこにあるもので何とかする、仲間と考える、そして遊ぶ。それがキャンプの楽しさです」と語る。

私の所属するYMCAは、野外活動を通して子どもの成長に寄り添う社会教育団体だ。私も、富士山麓で子どもたちのキャンプ

場「富士山YMCAグループバルエコヴィレッジ」開設に携わったことがある。自然の不思議さに触れて育つ

感性「センスオブワンダー」と心と体が直接触れ合うグループワークで、子どもたち

ちがどれほど成長するかを見てきた。

横須賀三浦エリアには、子どもたちが育つ機会とそれを支える脇役の大人がたくさんいる。たくさん子どもたちに主役になってほしい。

大人たちの夏を待ち構えているNPOもたくさんある。ひと夏に40団体が参加する「夏の市民活動・ボランティア体験2015」もまだ続いている。足を運んではどうだろうか。詳しいご案内はサポートセンターまでお問い合わせ下さい。

(横須賀市立市民活動サポートセンター)館長・高橋 亮

夏の主役は子どもたち。カメラに挑戦

夏の主役は子どもたち。カメラに挑戦

